

# ヒノヒカリ・きぬむすめ 栽培ごよみ

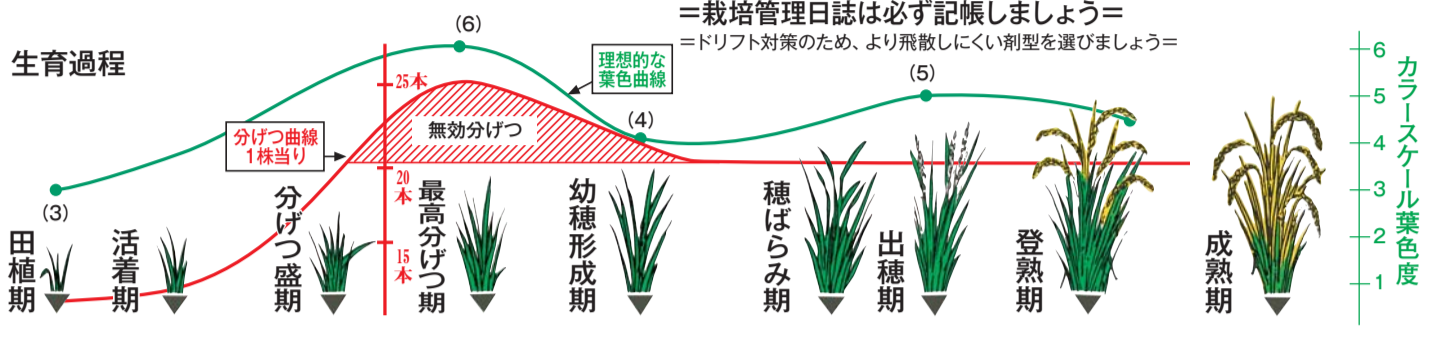
おいしいお米の  
つくりかたの要点

- ◎優良品種への統一と種子更新。
- ◎有機物・土づくり資材の施用。
- ◎薄播きと健苗の育成。
- ◎施肥の合理化と、水管理の適正。
- ◎適期防除による減農薬栽培。
- ◎適期収穫と乾燥・調製の適正化。

## 品種別出穂期・成熟期(目安)

品種名	幼穂形成期	出穂期	成熟期
ヒノヒカリ	8・2	8・27	10・9
きぬむすめ	7・28	8・21	9・30

遭うため注意しましょう  
早期田植は出穂期が高温に



=栽培管理日誌は必ず記帳しましょう=  
=ドリフト対策のため、より飛散しにくい剤型を選びましょう=

中生種	11月~4月	5月	ヒノヒカリ きぬむすめ	6/15	7/中頃	8/2頃 7/28頃	8/27頃 8/21頃	10/9頃 9/30頃
-----	--------	----	----------------	------	------	---------------	----------------	----------------

### 機械植栽培

主な作業と管理の要点(赤字は基幹防除)

水管理

土づくり

育苗箱の消毒

種子消毒

浸種・催芽

播種

育苗管理

除草

追中除

土用干し

穂肥

穂肥

落

刈

脱

乾燥・調製

調整にあたっては整粒歩合80%以上の一等米に仕上げる。玄米水分を目標一五%に仕上げ過乾燥米をなくす。粉の水分を測定し、張込量・送風温度(外気湿度)送風量に注意すること。コンバイン収穫等生脱穀の場合は玄米粒が発生しないよう注意すること。(青味粉率五~二〇%)適期はおくれ穂を除いた穂の稔実もみの八〇%~九五%が黄変したとき毎年種子更新をお願いします。(早期落水はさける)

トレボン粉剤DL4kg

ブラシンジョーカー粉剤DL4kg(穂首出揃期)

ハスラーRX粉剤DL三~四kg②

またはイッカツエース粉剤DL三~四kg①

(第一回・施肥例参照)

(第二回・施肥例参照)

(目標茎数(二〇~三本)が確保できたら早く)田面に軽く亀裂が入る程度。

中期除草剤(除草剤の使い方参照)

軽い中干しでガス抜き(施肥例参照・活着後)

初期除草剤(除草剤の使い方参照)

(施肥例参照)

温度管理に注意(別記参照)

稚苗田植前二五~二八日

中苗田植前二〇~二五日

成苗田植前二〇~二五日

育苗日数の厳守

別記参照

(カブレの恐れがあるのでゴム手袋を着用する。)

苗箱はイチバン乳剤一〇〇〇倍液に即時浸漬する。

土づくり資材の施用(別記参照)

粒剤防除

葉いもち、ウンカ類、メイチュウ、フタオビコヤガ

ゴウケツモンスター粒剤 3kg

使用時期 出穂5~12日前(収穫45日前まで)

ピルダールフェルテラスタークル箱粒剤② 50g/箱

フタオビコヤガ(イネアオムシ)

=薬剤を散布した後は3~4日間、落水・かけ流しをしないように注意しましょう。=

## 施肥例 10a当たり(kg)

- この施肥例は、稚苗・中苗移植を基準にしているため、ポット成苗移植の場合は基肥は控え目に、穂肥は幾分早目に施用する。
- 側条施肥田植機を使用する場合は、基肥の量を20~30%程度減肥する。大豆、レンゲ跡地は基肥を控えめに施用する。
- 土壌条件、品種、栽培型、植付時期、生育状況、天候に応じて施肥時期、施肥量を調節する。
- 土づくりは毎年の実行で効果が高まるので、稲わらは焼却せず、土づくり資材とともに秋季にすき込みを励行する。

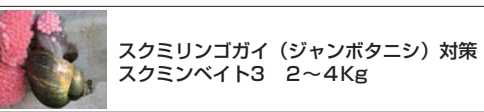
◎各施肥例に共通の土づくり資材 (いずれの施肥例にも下記の土づくりを前提とする)

土づくり資材	施用量	施用時期	備考
堆肥(稲わら)	500kg	秋季	石灰窒素を20kg添加し、ミネラルG等の耕土培養資材とともに年内までにすき込む。
ミネラルG	200kg	秋季 荒起前	農閑期に早めに施用する。秋落田・排水不良田により。
または とれ太郎	60kg 80kg	荒起前	品質向上のためのケイ酸補給に、少量散布が可能な資材。
アツミン	40kg	基肥	完熟堆肥約1,000kgの腐植酸に相当し地力増進と根の活力増進に役立ちます。

### 1、省力施肥例

(1) 1回施肥①

中生種	肥料名	総量	全量基肥 施用	三要素		
				N	P	K
中生種	JA岡山西 中生用R822	50	50	9.0	6.0	6.0
	(BM) 苦土重焼燐	10	10		3.5	
	けい酸加里プレミア34	20	20			4.0
	計			9.0	9.5	10.0



### 1回施肥②

中生種	肥料名	総量	全量基肥 施用	三要素		
				N	P	K
中生種	らくだ君中晩生用500	35	35	8.75	3.5	3.5
	(BM) 苦土重焼燐	10	10		3.5	
	けい酸加里プレミア34	20	20			4.0
	計			8.75	7.0	7.5

### (2) 2回施用 (有機質肥料栽培)

肥料名	総量	基肥	穂肥 8月上旬	三要素		
				N	P	K
岡山西いちばん	85	50	35	10.2	5.1	5.95
(BM) 苦土重焼燐	10	10			3.5	
けい酸加里プレミア34	20	20				4.0
計				10.2	8.6	9.95

### (緩効性肥料栽培)

肥料名	総量	基肥	穂肥 8月上旬	三要素		
				N	P	K
G0264	40	40		4.8	6.4	5.6
F0X444	40		40	5.6	1.6	5.6
(BM) 苦土重焼燐	10	10			3.5	
けい酸加里プレミア34	20	20				4.0
計				10.4	11.5	15.2

### 2、低コスト施肥例

中生種	肥料名	総量	基肥	追肥	穂肥		三要素		
					1回目	2回目	N	P	K
中生種	PKセーブエコ422	80	30	10	20	20	11.2	9.6	9.6
	計						11.2	9.6	9.6

※砂質田等では必要に応じて基肥にPK40号を20kg/10a施用する。

※薬剤散布前に農薬の...